

入野の砂浜を誘致活動に ドローン撮影の映像を活用



あさの しゅういち 議員
浅野 修一

答 門田産業推進室長

本町のスポーツツーリズムは、サッカー中心であったが、近年では野球やゴルフなどにも幅を広げて誘客を図っている。

これまで、サッカーでは本町出身の元Jリーガー藤田泰成氏によるサッカー教室を行なってきた。

今年度は土佐西南大規模公園人工芝グラウンドの落成式典に合わせ、元サッカー日本代表の釜本邦茂氏、同じく西村昭宏氏によるサッカー教室を

ゴルフでも、プロゴルフアーによるゴルフ教室を開催した。野球では、毎年高知フアイティングドックスによる野球教室で直

接指導を受ける機会を設けており、今後も町内の子ども達への支援をしていきたい。

の機会を見逃すことが度々あるとの声を聞くが町としての考えは。

答 門田産業推進室長

住民への周知については、学校関係者からも同様の意見があり、今年度中国と韓国のプロサッカーチームが町内でキャンプを行なった際には、町

内中学校に情報を提供し案内をした。また、試合開催時には告知放送でもお知らせをしている。今後も、学校にはメールで、住

民の方には告知放送やIWKテレビを活用し、周知に努めていく。

問 各チームへの歓迎の意味と、町民や来町者への公告のためにも、キャンプの日程や場所等を国道沿いの目立つ場所へ掲示はできないか。

その中で、提案の掲示についても検討したい。

答 門田産業推進室長

観光掲示板をはじめとして、町内の案内板類の表示の統一などの整理を検討したいと考えている。

答 門田産業推進室長

会場には、横断幕等を張り歓迎している。その他のイベントでも浮津海水浴場近くの国道の陸橋の欄干に掛けているが、そういった方法を、一度検討してみたいと思う。

問 野球、サッカー、陸上など、様々な競技の基礎体力づくりには有効な、入野海岸の砂浜を前面に打ち出した誘致活動はできないか。

答 門田産業推進室長

入野海岸の砂浜は、スポーツツーリズムを推進する上で黒潮町を売り込む有効なPR素材だと考えている。スポーツ合宿に訪れる指導者達からも砂浜を活用したトレーニングの有効性の話は伺っ

ている。先日までキャンプを行なった、ミキハウスペースボールクラブのコーチからも、体幹トレーニングの一環に砂浜を活用したと聞いた。スポーツ誘致の際には本町の砂浜の存在をアピールしている。その方法として、ドローンによる上空からの動画を活用し砂浜を紹介。砂浜でのトレーニング風景も映像で紹介しており、今後も砂浜の存在をアピールしながら誘致活動を進めていく。

問 小学生、中学生を主に対象とした、各種競技の普及とレベルアップにより裾野を広げ、スポーツツーリズムの機運を高めるために、一流アスリーの招致はできないか。

近年、当町には様々な競技でキャンプ等に訪れている。しかし、キャンプ等を終え、帰られた後にその情報を聞く現状があり、町民の中からは折角



ドローンによる入野海岸の空撮写真